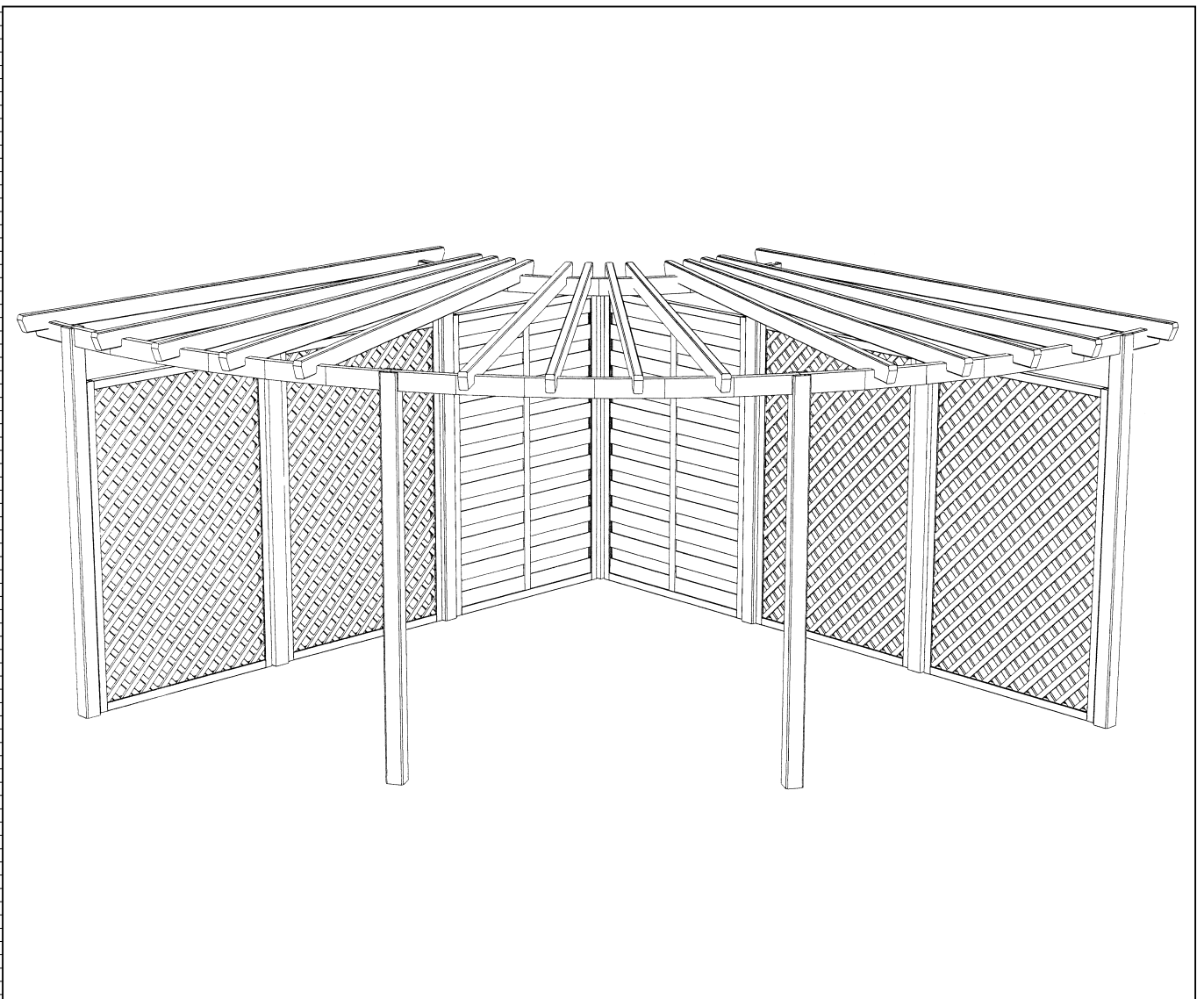


スターパーゴラ 施工手順説明書

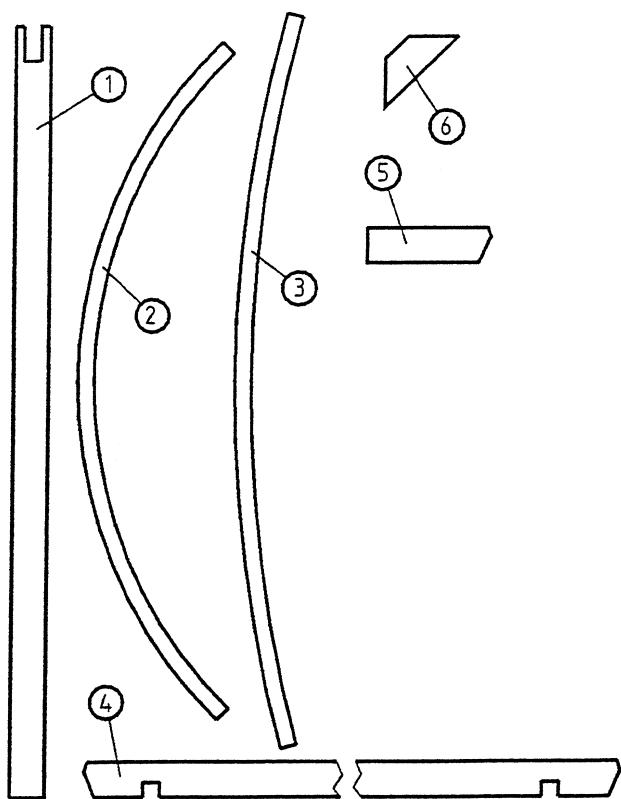


2002年9月


OSMO/GARD
日本オスモ株式会社

本社 〒673-1111 兵庫県美のう郡吉川町上荒川748-6
TEL(0794)72-2001 FAX(0794)72-2000
関東営業所 〒338-0832 埼玉県さいたま市西堀1-17-8-101
TEL(048)845-7590 FAX(048)845-7589
E-mail : info@nihon-osmo.co.jp

組み立ての前に



部材リスト (mm)

1. パーゴラ用柱	90 × 90 × H2,080mm	6本
2. アールサドル(狭)	43 × 94 半径1,270mm 90°	1本
3. アールサドル(広)	43 × 94 半径3,810mm 30°	3本
4. 忍び飾り	45 × 94 × 2,905mm	14本
5. エンドピース	45 × 94 × 325mm	4本
6. 方丈	45 × 94 × 270mm	12本

組み立てる前に、施工する基礎の状況に応じて柱の施行方法、あるいはオスモアンカーシステムを決定してください。スターパーゴラは、あらかじめコンクリートで固められたような水平なところに原則的に施工します。その場合は、図1のタイプのLアンカーをコンクリートアンカーで基礎に打ち込む方法をお勧めします。

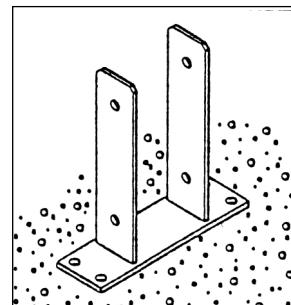
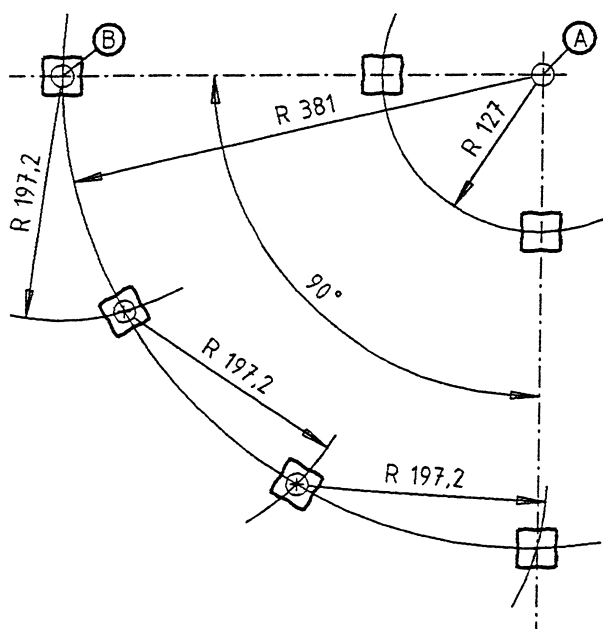



図1

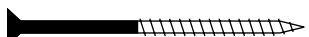


施工現場がコンクリート等で固められていない場合は、柱ごとにコンクリートの独立基礎を置く必要があります。この際、基礎用の穴は約80cmほど掘り、穴の開口は、350 × 350程度が必要です。柱位置の決定は、左図を参考に行ってください。



付属ビスの梱包数

 4 × 50mm 60本
(柱、アールサドル、方丈留用: 48カ所) 予備12本

 5 × 80mm 30本
(忍び飾り留用: 28カ所) 予備2本

正しい位置に基礎を置くために上のイラストの糸コンパスのご使用をお勧めします。コーナーポイントA(角)を中心に、半径、1,270mmと3,810mmの2本の弧を印します。それから、ポイントBを中心にして半径1,972mmの弧を印します。ポイントBが外径の最初の柱位置で、Bから1,972mmの弧と、Aから3,810mmの弧が交わる部分が2本目の柱になります。更に2本目の柱から1,972mmが3本目、3本目から1,972mmが4本目のそれぞれ柱位置になります。

本体の施工

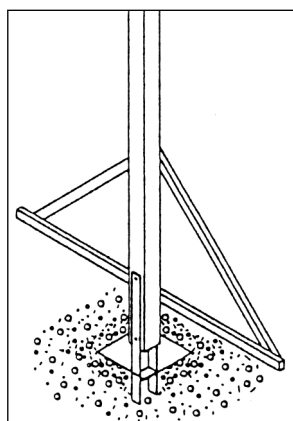
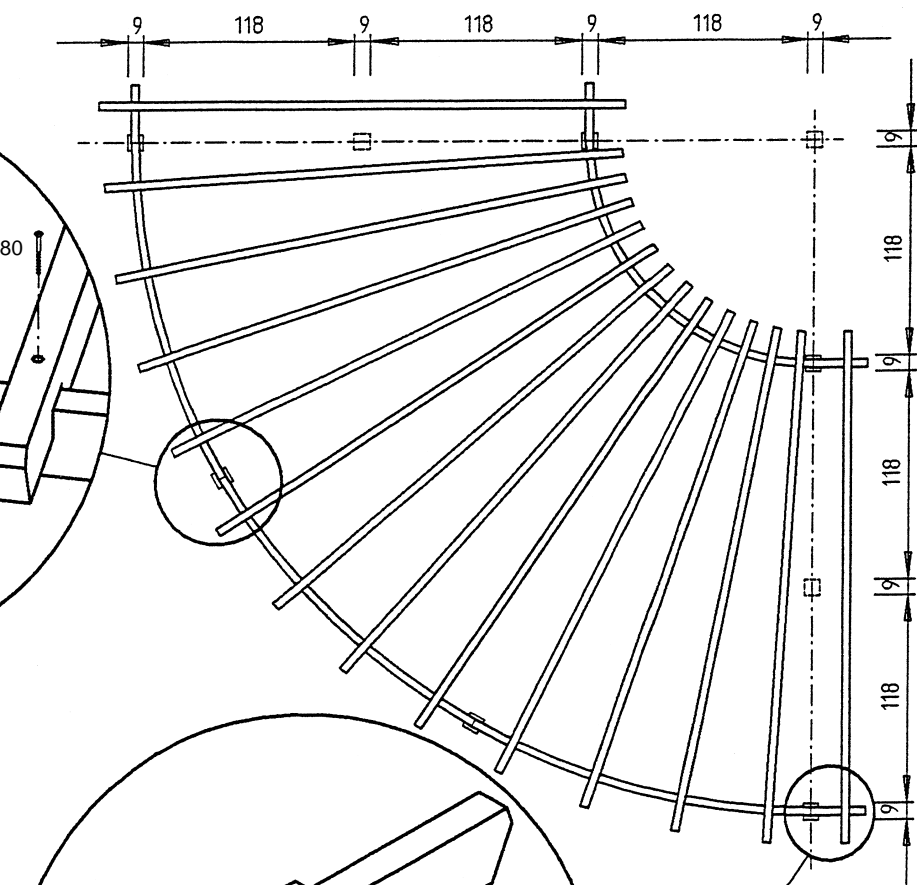
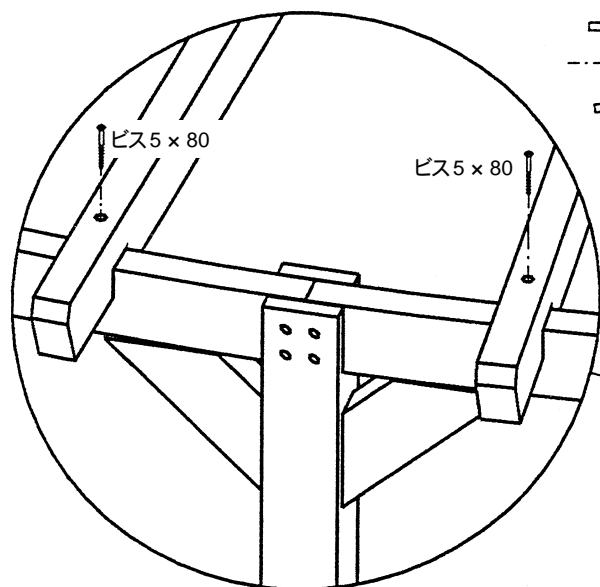


図2

独立基礎に柱を固定する場合は、図2のH型アンカーの使用が最適です。本体の施工は次のような手順で行います。

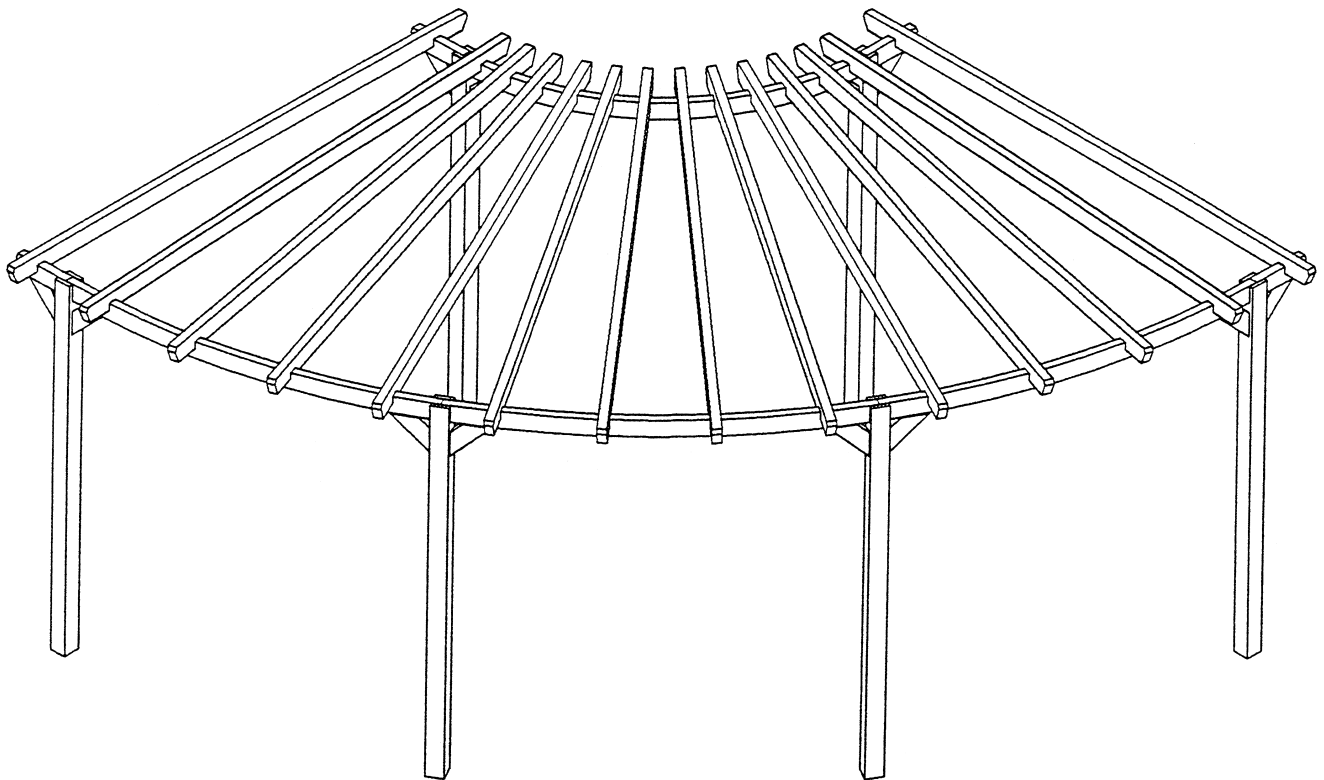
柱用の穴を掘った後、それぞれの柱にH型アンカーをボルト&ナットで留め、それぞれの柱位置に配置します。それぞれの位置に柱を配置し仮組みた後、柱にアールサドルを取り付け、忍び飾りを通します。続いて、すべての部材の取付ができた時点で、垂直方向、水平、柱位置などを最終確認した後、コンクリートで柱を固定します。



(単位: cm)

スターパーゴラのアールサドルは、製造当初の寸法と若干異なっている可能性があります。これは、木材特有の収縮によるものです。そのため、組み立ての際は必ず仮組を行ってください。場合によっては、加工を加える必要もあります。

注意:ビスを使用する際は必ず下穴を開けて下さい。



スターパーゴラのキットは、上図のような形になりますが、下図のように柱、
、
を加えることによって、1,160mm幅のラチスや目隠しパネルを取り付けることが可能です。柱位置は前ページの平面図を参考にしてください。

